

DSO会長就任のご挨拶

今期、ダイバーシティ・サポート・オフィスの会長に就任しました森林研究・整備機構（森林機構）理事の柳田と申します。私は、農林水産省林野庁、長野県等で森林・林業・木材産業行政に携わり平成30年4月より理事を務めております。また、私どもは平成29年4月より森林総合研究所から森林研究・整備機構と名称を変更し、研究開発業務を担う森林総合研究所、水源林造成業務を担う森林整備センター、森林保険業務を担う森林保険センターの3つのグループで、当機構のミッションを果たすべく日々取り組んでおります。今回を契機に当機構についてもご承知おきいただければ幸いです。



さて、皆様をご存知のように、昨今、ダイバーシティという言葉が国内の各組織にて市民権を得つつあります。特に民間企業においては、企業経営における常識的な言葉のひとつとして使われるようになってきているようです。個々人の多様性が意見の多様性として組織の中に存在することで、結果的に企業の強靱性やパフォーマンスを高めるというのが主な理由です。このような組織のダイバーシティとパフォーマンスとの因果関係については、海外等の先進的な取り組みの結果などから明らかにされており、人口減少や価値観の多様化が進む我が国においても、多様な年齢構成、性別、人種・民族性、婚姻の有無、そしてそれらが生み出す、個性、価値観、物事に対する姿勢、信念といったダイバーシティがもたらす効果を積極的に企業経営に結び付けようとする動きが広がっているようです。

我が国におきましては、法制度や社会体制においても男女共同参画社会基本法（1999年成立）、次世代育成支援対策推進法（2003年成立）や女性活躍推進法（2015年成立）等の法整備が進んだことと前後して、各組織においても男女共同参画やワーク・ライフバランス、若手や女性のキャリア形成の支援を行う体制づくりが進められています。このような状況の下、国研や大学といった学術分野においても女性の活躍促進を主軸としたダイバーシティ推進の機運が高まっています。たとえば、ある報告によると、平成18年度には約12%であった女性研究者の割合は、10年後の平成27年には約15%に上昇するなどゆっくりですが増加しつつあるとのこと。

しかし、実際のところは、欧米各国に比較するとまだまだ低水準であり、多様な人材の参画、意識の啓発、ワーク・ライフバランスのあり方、キャリア形成の支援等において、さまざまな取り組みを行っていく余地があるものと思われます。

ダイバーシティ・サポート・オフィス（DSO）は、研究教育機関をメンバーとして男女共同参画等を連携して推進するための組織です。その目的は今後の各組織におけるさらなるダイバーシティ推進、すなわち働きやすい環境の実現にあります。これを達成するためには、参加機関の皆様と一緒に、相互のイベント等の機会提供、情報交換を密に行い、お互いに刺激を得つつ、協力していくことが不可欠です。今後ともイコール・パートナーシップ（メンバーが対等に運営する関係）の精神に基づき、開かれたDSOとして活動して参りたいと考えております。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 理事 柳田 真一郎

DSO事務局の活動報告

令和元年度総会・第1回懇話会&交流会

令和元年9月27日、森林総合研究所大会議室にて、令和元年度DSO総会・懇話会を開催しました。総会には13機関の代表者や担当者の方にご出席いただき、平成30年度の活動報告と令和元年度の活動計画(案)が承認されました。また、「つくば女性研究者支援協議会とダイバーシティ・サポート・オフィスとの連携に関する協定書」に関して、次年度総会までの協定期間延長も承認され、会則についても一部改正を行いました。新会長には森林研究・整備機構の柳田真一郎理事が選出されました。



懇話会では、まずテーマ①として、仕事へのモチベーションアップやキャリアアップを目的とした研修について取り上げ、各機関からそれぞれの取り組みが紹介されました。その中で、女性管理職比率の上昇を課題とし、管理職候補の女性を対象とした「女性向けキャリアアップ研修」を行っている機関が多くみられました。女性職員の意識やモチベーション向上を目的に、セミナーやヒアリングを実施している事例も報告されました。一方で、女性管理職候補を取り巻く周囲の人々に向けた研修の事例は報告がありませんでした。キャリア形成を目的に階層別研修を設けている機関もありました。



また、若手研究者を対象に、海外で研究できる在外派遣制度、事務職向けの海外語学研修を実施している事例も報告されました。メンター制度については、メンティがメンター候補者の中から選択する方法、担当部署がメンターとメンティのマッチングを行う方法など多様な方法があり、実情に即した情報交換がなされました。

次にテーマ②として、LGBTへの取組についての紹介がありました。情報収集やセミナーの企画が中心で、制度整備の取組は検討段階であるという機関が多く見られましたが、LGBT/SOGIのガイドラインを整備している機関からは、ガイドライン作成の目的や留意点の紹介もありました。また、外国人研究者や海外との共同研究が多い研究機関では、LGBTへの取組についての具体的課題の報告がなされました。LGBT当事者の利用を想定したトイレの設置の事例についても複数機関から照会がありました。

これらのテーマ以外にも情報交換の場として、育児介護支援制度で支援中に対象要件から外れてしまった場合の対応についての意見がまとめられ、各機関から対応策について情報交換がなされました。

総会・懇話会終了後にはささやかな交流会を開催しました。担当者の経験談や苦労話などを交えた会話が弾んで、懇話会とはまた違った貴重な情報共有の場となり、なごやかな雰囲気の中で親睦を深めました。



DSO参加機関 公開イベントのご案内

■ 宇宙航空研究開発機構 ■

JAXA相模原キャンパス特別公開 ～ ワークライフバランス変革推進室 イベント「JAXA職員と語る宇宙科学の仕事と生活」～

【日時】 2019年11月2日(土)9:30～17:00

【行事名】 JAXA相模原キャンパス特別公開

【題名】 ワーク・ライフ変革推進室イベント「JAXA職員と語る宇宙科学の仕事と生活」
～理工系への進学や就職への不安や疑問はありませんか？先輩職員と語りあいましょ
う！

- ・トークイベント ①10:30～11:10 JAXA女性職員の講演と交流会：②12:10
～12:35 JAXA女性職員の講演（手話付き）：③13:50～14:30 JAXA女性職員
の講演と交流会：④15:30～16:10 JAXA女性職員の講演と交流会
- ・座談会 12:40～13:10 JAXA男性職員によるイクメン・イクボス座談会

【講師】 JAXA職員

【場所】 JAXA相模原キャンパス（神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1）

なお、上記トークイベント・座談会は相模原市立博物館地階大会議室で開催されます。

【申込方法】 事前申込不要、先着順（各回入替制）

【開催機関】 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

【関連情報】 <http://www.isas.jaxa.jp/outreach/events/002183.html>

【対象】 DSO参加機関以外も対象



■ 筑波大学 ■

ダイバーシティセミナーV「研究領域におけるGender Equalityとダイバーシティ推進の壁～意思決定プロセスへの女性の参画と推進体制の持続可能性～」

【日時】 2019年11月28日 14:00～16:00（※終了後、16:00～17:00まで情報交換会）

【行事名】 全国ダイバーシティネットワーク組織 関東・甲信越ブロックセミナー

【題名】 ダイバーシティセミナーV「研究領域におけるGender Equalityとダイバーシティ推進の壁～意思決定プロセスへの女性の参画と推進体制の持続可能性～」

【講師】 山村 康子 氏（JST科学技術プログラム推進部プログラム主管（プログラムオフィサー））

【場所】 AP秋葉原（4階会議室 I+J）〒110-0006東京都台東区秋葉原1-1 秋葉原ビジネズセンター 1F・4F・5F（受付1F）アクセス：<https://www.tc-forum.co.jp/ap-akihabara/access/>

【申込方法】 「所属・氏名・役職（学年）・連絡先（Eメールアドレス）」を記載の上、11月25日（月）までにDACセンター（ダイバーシティ担当）ホームページ上の申込フォームにて受け付けます。

【開催機関】 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター



（つづく）

(つづく)

【関連情報】 <https://diversity.tsukuba.ac.jp/?p=20000>

【問合せ先】 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター ダイバーシティ担当
TEL 029-853-8504 (石井・大園) / diversity@un.tsukuba.ac.jp

【対象】 全国ダイバーシティネットワークの関東甲信越地区ブロック参加機関の関係者、産総研及び日本IBM等を含むつくば女性研究者支援協議会参加・連携機関等の関係者、筑波大学の教職員及び学生、一般の方

■ 土木研究所 ■

ワークライフバランス講習会

「個人も組織も成長するワークライフバランス戦略 ～生産性の高い働き方の実現～」

【日時】 2019年12月18日 (水) 14:00～15:30

【行事名】 ワークライフバランス講習会

【題名】 個人も組織も成長するワークライフバランス戦略 ～生産性の高い働き方の実現～

【講師】 宮原 淳二氏 (株式会社東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部長)

【場所】 国立研究開発法人土木研究所 ICHARM棟1階講堂

【申込方法】 12月11日 (水) までに件名「【所属機関名】12/18ワークライフバランス講習会参加申込」とし、①氏名②所属③連絡先をsaitou-k573bt@pwri.go.jpまでメールにてお申し込みください。

【開催機関】 国立研究開発法人土木研究所

【問合せ先】 国立研究開発法人土木研究所 総務部総務課 齊藤 TEL029-879-6700 (mail : saitou-k573bt@pwri.go.jp)

【対象】 DSO参加機関のみ対象

(チラシをクリックすると拡大版に飛びます)



事務局より

今回の総会まで事務局(高山、田中、松原)を務めさせていただき、森林総合研究所ダイバーシティ推進室の室長の高山です。今回再び事務局が産業技術総合研究所から森林総合研究所に移行することになりました。これまでの事務局の方のようにスムーズに努められるか、いささか不安であります。いたらぬところもあるかと思いますが、ダイバーシティ推進のための情報の共有が図られるように頑張っていきたいと思っております。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)は、研究教育20機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進しています。参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行っています。当初は、科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林研究・整備機構、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学、量子科学技術研究開発機構、建築研究所(加入順)

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれの機関で働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。バックナンバーはDSOホームページにてご覧いただけます。